

# サスペンション

快適性追求ゆえの  
新たなるアプローチ  
スタイリングと乗り心地を  
併せ持つ最新スペック

HKSのサスペンションキットといえば、スポーツ性を高めるための車高調というイメージが強い。しかしハイパーマックスシリーズ最新のGは、上質な快適性を重視した結果導き出された、今こそあえての純正形状なのだ。



ストラット機構を採用するクルマにとって、ダンパーを倒立式に変更するのはハンドリングの向上にも大いに役立つ。ダンパー単体で剛性感を高めることは、従来の車高調シリーズと同様の設計だ。



**HKSのノウハウを詰め込んだ時代にマッチする設計思想**

ピストン面積を最大限に取れる単筒式はHKSこだわりの形状。路面からの小さな衝撃に対しても対応できるため、安定感の高いソフトな乗り心地を実現できる要因と言える。



スプリングも純正形状を基に、ローダウン量に合わせて専用設計。ダンパーケース表面に特殊コートを実施するなど、降雪エリアなどでも気軽に使い続けることができる。

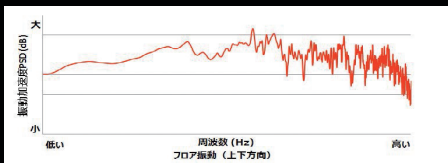


**現代のカスタムに求めるのは快適性**

エアロパーツでの装飾と違ったカスタマイズの過渡期を過ぎ、より実用的かつ快適なクルマが求められている現在。社外のサスペンションキットといえば、誰彼構わず車高調を選択するのではなく、用途に合わせて最適なキットを選ぶ人が増えてきている。そんな時流に合わせて、HKSがラインアップしたのが、純正形状を採用するハイパーマックスGだ。

車高調でもおなじみのハイパーマックスブランドにおいて、純正形状を投入した理由はまさしく上質な乗り味を実現するため。大幅な車高調整を必要としない分、設計に合わせた十分なストローク量が確保できるといふわけだ。もちろんこの設計思想に合わせてダンパーの調律はきめ細やかに行われているのはいうまでもない。

もちろんダンパーの設計は、こだわりの単筒タイプの倒立式。車高調キットでも定評のある方式を組み合わせることで、より剛性感の高いサスペンションを作り上げているのだ。ダンパーセッティングは もちろん、専用スプリングによる適度なローダウンも見逃せないポイント。単純にコンフォート性能を求めただけでなく、スタイリング面も考慮した設計は、社外サスペンションを選択する基準のひとつ。目の肥えたハードユーザーも納得できる充実性能は、まさに日本を代表するチューニングパートナーだからこそ為せる技なのである。



HKSが示す  
快適性の実現

これまでのサスペンションチューンはローダウンを基本に考えられていた。しかし乗り心地や快適性といった本質を求めるユーザーに対して、明確な回答は与えられていなかった。そんな本質を突き詰めたハイパーマックスGは、フロア振動や振動の周波数に至るまで計測し、ドライバーとパッセンジャー双方の快適を実現している。



まとめ：渡辺大輔

- 大画面AV
- LEDライト
- 空気清浄機
- アクセサリ
- 電動ツール
- プラスチック
- ドライバース
- エイド
- 簡単
- コーディネート
- サマータイヤ
- サスペンション
- ドライバース
- シート
- オイル